

# 日本の書店発の電子書籍流通

2010年6月22日

株式会社紀伊國屋書店

# 日本の書店発の電子書籍流通

- ▶ 出版物の販売を通じた日本文化の発展に寄与するとの基本スタンスで、日本の出版文化の世界発信も念頭に、ネットワーク社会に対応した書籍流通への取り組みを強化。
- ▶ 当面、電子書籍の購入・閲覧・管理のための統合的な「紀伊國屋書店アプリ」をiPhone/iPad向けに投入することから開始し、アンドロイドOSをはじめその他の各種端末へのユニバーサルな展開を予定。
- ▶ さらに、SDカードなどのメディアに収納し店頭で販売するパッケージコンテンツと、ウェブからのダウンロードコンテンツを組み合わせた「ハイブリッドデジタル販売モデル」を形成することで、日本の出版文化を支える地域書店とも協調した「日本の書店発の電子書籍流通モデル」の確立を目指します。

## ▶ 出版流通と書店業界の再活性化にむけて

- 紀伊國屋書店は、学術市場でのBtoB電子書籍販売の実績を踏まえ、店頭およびウェブでの従来からのBtoC書籍販売を、デジタルコンテンツへと本格的に拡大してゆきます。
- 特に、店頭で販売するパッケージ・コンテンツと、ウェブからのダウンロード・コンテンツとを組み合わせ、ハイブリッド型での電子書籍の提供など、様々な新しい販売モデルに取り組んでゆきます。
- またそれによってお客様の多様なニーズに応じてゆくとともに、出版流通と書店業界全体の再活性化に寄与できるよう努めてまいります。

## ▶ 紙の本から電子の本まで、読書ライフをトータルにサポート

- 電子書籍においても、日本書籍から洋書まで、幅広い品揃えを提供。
- 一度購入した電子書籍を多くのデバイス間でシームレスに、継続的に利用できる環境を構築。
- 電子書籍であっても、読者が”蔵書”としての「所有感」を持てる枠組みを提案。

# ウェブでの電子書籍の販売

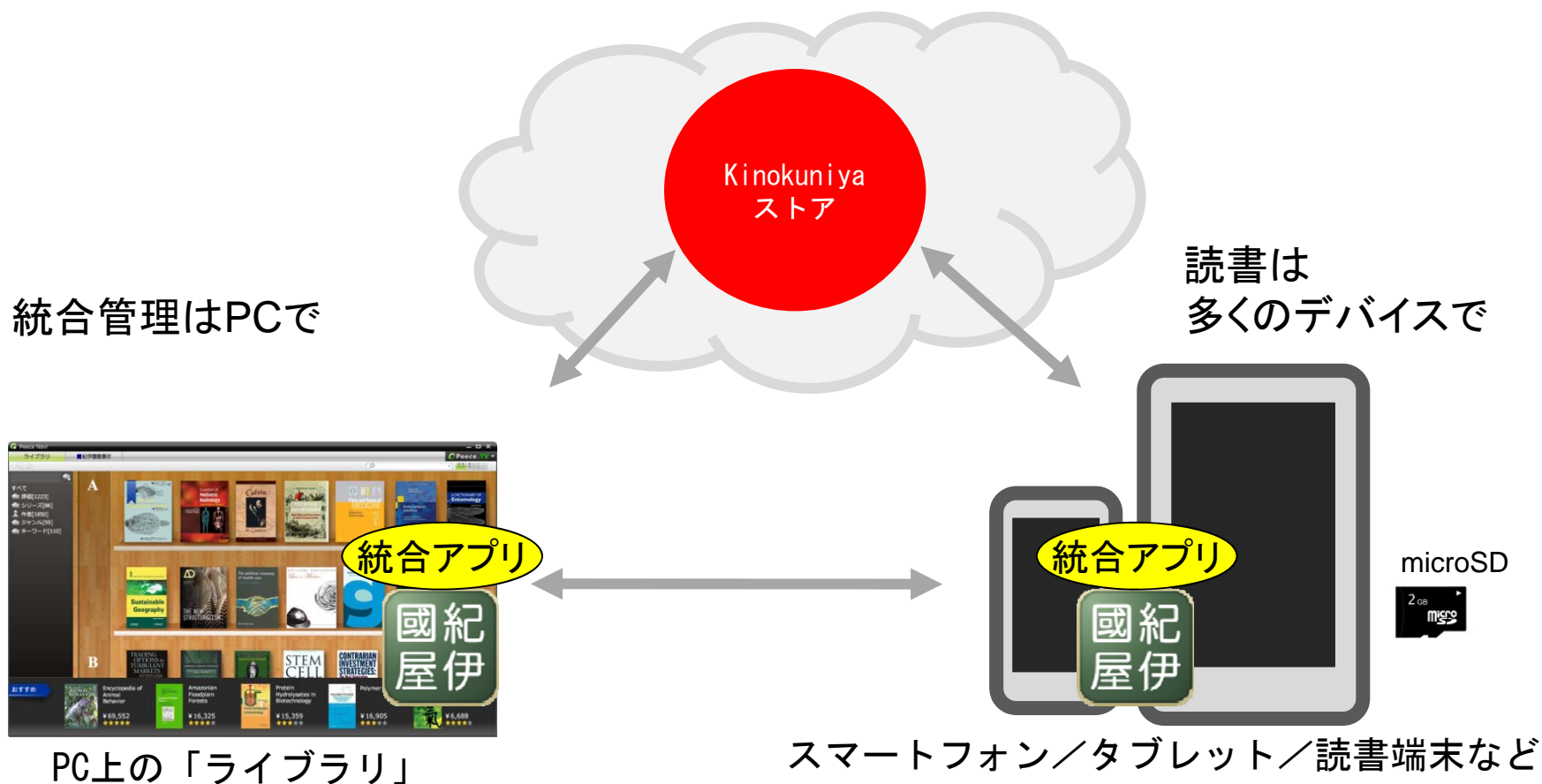
## 3つの機能を実現する【統合アプリ】を配布

- ✓ 電子書籍の購入・ダウンロードを行なう「ストア」機能
- ✓ 購入した電子書籍を閲覧する「ビューワ」機能
- ✓ 購入した電子書籍を個人の”蔵書”として管理する「ライブラリ」機能



# 「ライブラリ」の電子書籍を様々なデバイスへ 紀伊國屋書店

購入した電子書籍”蔵書”を「ライブラリ」で管理しながら、  
必要に応じてモバイル・デバイスへ同期して読書



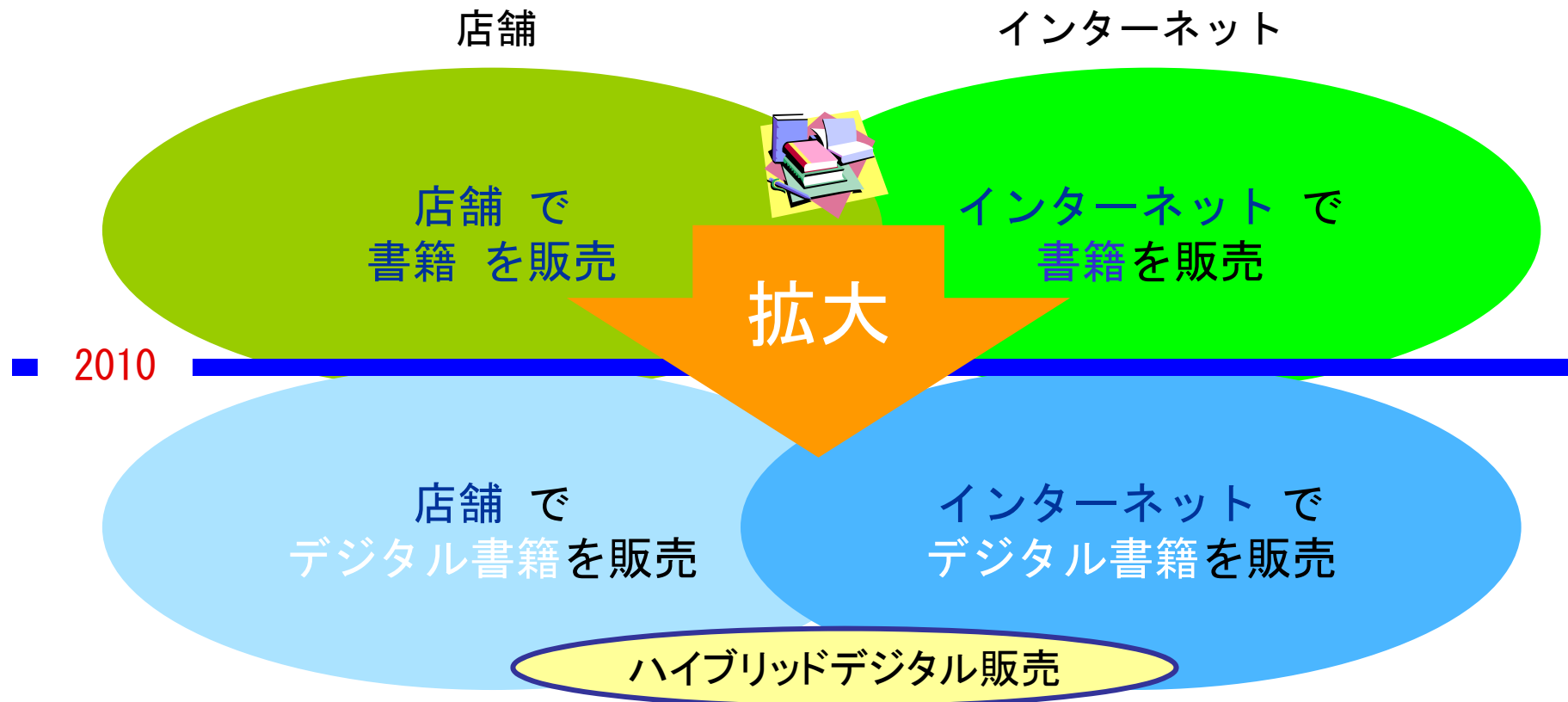
# 統合アプリと Kinokuniya IDで シームレスな読書環境を実現

様々なデバイスがクラウド上のストアを通じてシームレスに同期



# 出版物の販売機会の拡大へ

商品（本 と デジタル本） × 売り場（店舗とインターネット）  
掛け算で4つの出口を最大化

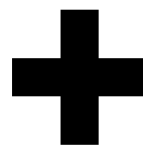


4つの出口展開による相乗効果で販売を最大化



# ハイブリッドデジタル販売の店頭展開

店頭では紙の書籍・雑誌とともに、SDカード「パッケージ+ダウンロード」  
モデルによるデジタルコンテンツをハイブリッドにご提供





# 店頭での電子書籍利用体験の提供

各メーカーとの協力のもとに、電子書籍リーダー端末も販売。  
コンテンツからデバイスまで、快適な読書ライフへの入口をご提供。



# 冊子体・ハイブリッドからウェブまで、 読書ライフをトータルにサポート

## 店舗 × 書籍 × 電子書籍 の統合的な購入履歴サービス

店舗／Web書店「BookWeb」／電子書籍ストアそれぞれで購入した書籍／電子書籍の購入履歴をKinokuniya IDによって一元管理。



- 豊富な品揃え：日本書籍から洋書まで、幅広いジャンルの本をご提供。
- 統合アプリ：ウェブ購入/読書/蔵書管理を自由自在に。
- 快適な読書感：電子書籍のタイプに合わせ、最適なビューワをご提供。
- 蔵書感覚：購入した電子書籍を自分の本棚に置くような感覚で管理可能に。
- マルチデバイス：利用シーンに応じてお持ちの様々なデバイスで読書を可能に。
- ハイブリッド読書：パッケージとダウンロードの組み合わせで電子書籍を「所有」。
- クラウド読書：「前回の続きから」「お気に入り／しおり／アノテーション」なども。
- デバイス体験：様々な読書端末を店頭で体験可能に。
- 書評サイトやSNS：書評やおすすめ本リスト、自分の蔵書リストの公開、読書を通じたコミュニケーションなどの場のご提供。